



きくがわ 社協だより

No.99
2013年
5月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

高齢者の生きがいと 社会参加を応援します



昨年開催の市老連グラウンドゴルフ大会

菊川市社会福祉協議会では、「菊川市における高齢者の生きがい活動支援検討委員会」を設置し、高齢者の生きがい活動を支援するための取り組みとして、何が求められるのかの検討を行いましたので御報告します。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会
〒439-0019 静岡県菊川市半済1865 (プラザけやき内)

☎〈0537〉35-3724 Fax 〈0537〉35-3202
Eメール info@kiku-syakyou.or.jp



1 はじめに

「老人クラブ」は、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織で、仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに、その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、地域を豊かにする社会活動の取り組みが期待されています。

しかし、現在高齢者人口が増えているのと対照的に、「老人クラブ」の会員が減少の一途をたどっています。静岡県内でもピーク時に比べ3割以上の減となっています。

そうした状況の中で、菊川市老人クラブ連合会としても新規会員の獲得に向けて様々な取り組みを実施していますが、なかなか減少に歯止めが効きません。

また、菊川市社会福祉協議会（以下「本会」という）では平成20年度より高齢者の交流の場が欲しいという地域のニーズから、「ふれあいいきいきサロン」という地域の一層の住民と一緒の取り組み、現在では市内に30近い「ふれあいいきいきサロン」を誕生させてきています。

この「老人クラブ」や「ふれあいいきいきサロン」のように地域活動へ参加することにより、生活満足度の向上やひとり暮らしの不安の軽減、気持ちに張りがあるということが、平成23年度に実施した「ひとり暮らし高齢者の生活実態及び意識調査」の分析結果にも表われています。

そのため、本会では、「菊川市における高齢者の生きがい活動支援検討委員会」を設置し、高齢者の生きがい活動を支援するための取り組みとして、何が求められているかの検討を行うこととしました。

2 検討の経過

(1) 団体の特徴

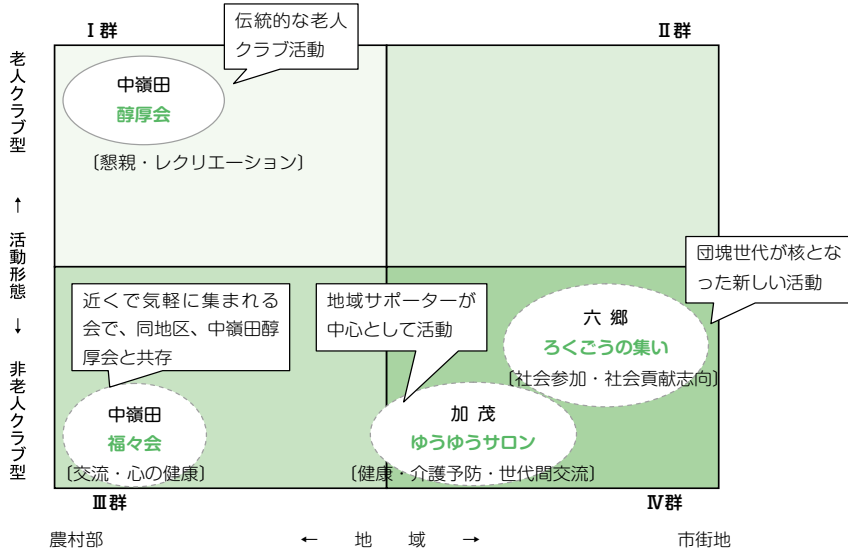
高齢者の生きがい活動の取り組みには、様々な形態のものがあることがわかりました。後期高齢者が

主に参加している伝統的な老人クラブの他に、前期高齢者を対象とした活動も市内には生まれてきています。

それぞれの団体の特徴を左記の図に整理すると、伝統的な老人クラブ活動は農村部に比較的多く、市街地では従来の老人クラブ活動ではなく、ふれあいいきいきサロンであったり、団塊の世代が新たな生きがい活動を展開していることがわかりました。

そのため、それぞれの団体の活動の特徴や地域性を加味して生きがい活動支援を考えていく必要があります。

《図》



- ① 共通する目的 : つながり、見守り
- ② 主催者の年齢 : 農村部方向に大、市街地方向に小
- ③ 参加自由度(参加してもしなくてもいい度合い) : 非老人クラブ型方向に大、老人クラブ型方向に小

(2) 老人クラブとふれあいいきいきサロン活動

老人クラブ活動の目的は、高齢者が喜びや生きがいを感じ、健康でいきいきと生活することが1つですが、その中でも、皆が楽しめる活動、高齢者同士のつながりを作る活動が中心となります。

ふれあいいきいきサロン活動は、ひとり暮らし高齢者や、高齢者のみの世帯が増えている中で、ボランティア活動に生きがいを感じ、このような志を持った方々が、自ら居住する地域で行う活動が中心となります。



ふれあい いきいきサロン



老人クラブ 健康ウォーキング

(3) 老人クラブを取り巻く環境変化

以前は、農業従事者や自営業の方が多く、「老人クラブ」に入ることが当たり前と思われていた時代でした。その頃は近隣の繋がりも強く、顔が見える関係が地域の中にありました。

その後、会社へ働きに出る人が多くなり、近隣との付き合いも少なくなってきました。また、価値観の多様化により「老人クラブ」に参加するよりも、自分の趣味の活動をする方がよいと考える人が多くなったため、「老人クラブ」の会員が増えず、会員も高齢化のため役員のなり手がいなくなりました。そのため、これからの「老人クラブ」活動を行っていくにあたっては、地域の特性を生かして活動を活性化していくことが求められます。

現在も伝統的な老人クラブ活動を行っている団体は、その活動が継続していくことができるようにその良さを生かした活動をしていき、「老人クラブ」がない地域では、高齢者の生きがい活動を支援するための取り組みが求められます。



(4) 求められる取り組みとして

地域への呼びかけ

- ・ 組織を活性化するための新会員の受け入れ（クラブに参加しやすい取り組み）
- ・ 地域全体の他の様々な地域資源、地域にいる人々の能力の活用
- ・ 老人クラブだけでは対応できない活動の企画、実施（見守り活動等）
- ・ 老人クラブ、ふれあいいきいきサロンが設置されていない地区への呼びかけ



さらに、地域のニーズを把握し、地域に関わってもらう

各地区の地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）の中で協議し、地域の老人クラブ、ふれあいいきいきサロンを共存させ発展させていきます。



求められる支援内容

社会福祉協議会	行政
・ 活動に対する情報の提供、相談、援助 ・ サロン交流会の開催 ・ 活動メニューに対する相談支援（講師等の派遣） ・ 活動費に対する助成 ・ 地域サポーターの支援、養成 ・ 老人クラブ、ふれあいいきいきサロンが設置されていない地区への呼びかけや設置の誘導	・ 各種出前講座の開催 ・ 情報提供、相談、援助 ・ 活動費に対する助成

「大石蓮友会」の仲間と楽しく 充実した日々を過ごしています

Q大石蓮友会の活動について教えてください。

老人クラブという名前を変えて「大石蓮友会」としました。名前の由来は昔、小菊荘の辺りには大きな池があって、そこに沢山の蓮の花が咲いていたので蓮の文字をとって「大石蓮友会」と相談して決めました。3年目になり、会員は50名くらいです。

市の老人クラブ連合会の活動は総会や芸能祭、輪投げ大会、グラウンドゴルフ大会は必ず参加しています。

「大石蓮友会」の活動は、毎週火曜日の午前中にグラウンドゴルフを小菊荘のグラウンドで練習しています。「大石蓮友会」だけのグラウンドゴルフ大会も開催しています。毎回25人位参加しています。日帰り旅行やお風呂へ行ったり、2ヶ月に1回会食を開いたり、カラオケや雑談をしたり交流を深めています。忘年会も毎年小菊荘を利用して行っています。小笠地区の祭典へ「大石蓮友会」として屋台を引かせてもらい参加しています。

Q活動して楽しいことや印象に残っていることがあったら教えてください。

楽しいことは、グラウンドゴルフ大会です。順位を決めるので楽しみです。

年1回の日帰り旅行や輪投げ大会で、いい成績をとると次への励みになります。

小笠地区祭典も小菊荘の信号機から大石の公民館までは「大石蓮友会」が1時間使用出来る時間があるので、会員が屋台を引っ張り祭典を楽しんでいます。若い頃を思い出して、太鼓も会員が叩き大いに楽しんでいます。

Q趣味や楽しみなことは何ですか。

やっぱりグラウンドゴルフですね。カラオケも大好きで以前は週1で先生について勉強していました。嶺田カラオケというグループをつくり、年4回発表会があります。中嶺田公民館と東嶺田公民館を交互に利用してやっています。今度の発表会では♪望郷わらべ歌♪を歌います。自分の子どもの頃やおふくろの事を思い出しながら歌います。

今ボケ予防で、はまっているのが“ナンプレ”です。百均で安く買えて楽しめますよ。

Qこれからの目標や、やってみたいことがあったら教えてください。

昨年11月に市民功労賞を市長からいただきました。

私の孫が小学校1年の時、自宅前で交通事故にあいました。当時は歩道もなく大変危険でしたので私はそれから毎朝、交差点に立ち旗振りを始めました。それから21年間毎朝続けています。私が立っていると運転手さんも気をつけようとし、子ども達も気をつけてくれます。始めた当時、大石の地区に3グループありましたが、今は南北分かれて、大石では1グループになり園児、児童16名の子ども達を見守っています。最初の頃の子どものさんはもうお父さんになっている人もいます。これからも私の身体が続く限りはやりたいと思います。



渡邊 昇治さん（大石）



軽費老人ホーム 和 松 園

和松園でどんな所？

家庭環境や住宅事情等の理由により、家で生活することが困難な60歳位以上の方が、低額な料金で利用し、健康で明るい生活を送ることを目的とする施設です。(定員は60名です)

和松園では、寝たきりや認知症を防止し、いきいきとした人生を送るためのお手伝いをしています。

入居にかかる費用って？

入居にかかるお金は3種類あります。

- ①老人福祉法により、毎年算定する利用料(1ヶ月60,210円～収入により変わります)
 - ②居室のエアコン利用料
 - ③お部屋で使われるテレビや冷蔵庫等の電気料
- ※これ以外の費用は、施設の中ではかかりません。

和松園では

- ・ 居住の確保
 - ・ 包括的な支援
 - ・ 認知症介護予防
- の3本柱により展開しています



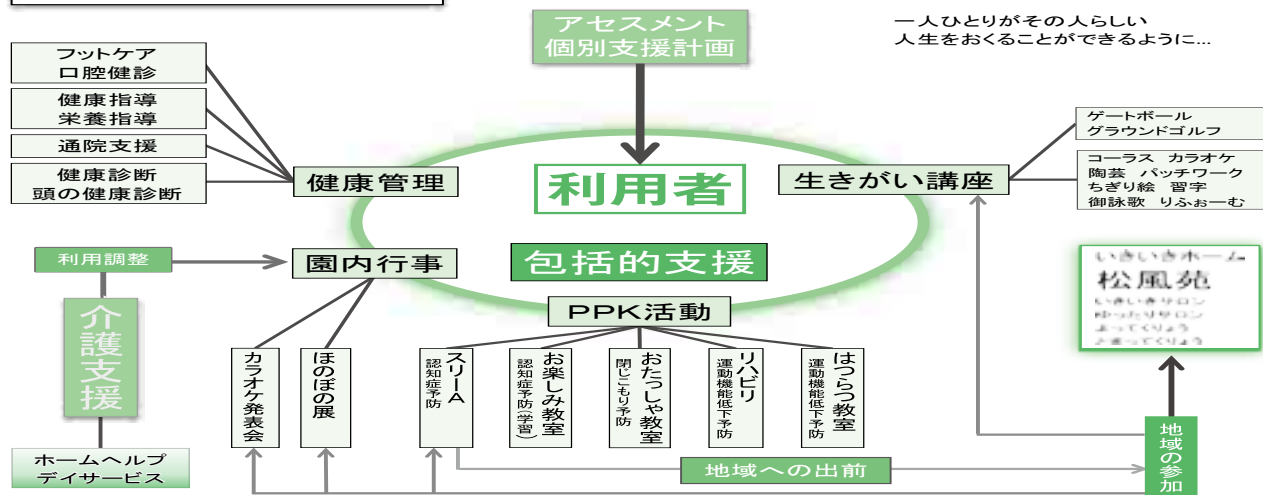
【お問い合わせ先】

軽費老人ホーム 和 松 園
住所：菊川市棚草1258
電話：73-3741



♥入居されている方、お一人おひとりがいつまでもここでの生活続けることができるように和松園は下記のようなお手伝いをしています。

和松園の支援



厚生労働大臣賞受賞おめでとうございます

東日本大震災における被災者の支援活動に対する厚生労働大臣感謝状伝達式が県庁本館でありました。

受賞団体 **小笠東地区コミュニティ協議会**

小笠東地区コミュニティ協議会は、東日本大震災において孤立した状況にあった宮城県気仙沼市大島への義援金や支援物資提供の支援を平成23年4月から平成24年12月にかけて継続的に行ったことに対して厚生労働大臣からの感謝状を授与されました。

地区のみなさまに義援金や支援物資提供の協力を呼びかけ、支援物資を搬送される等中心的な役割をされた地域サポーター部会「そんだもんで東」をはじめ、ボランティアサロン、小笠東小学校、岳洋中学校野球部、母親クラブ（ヤングリーフ）等、小笠東地区の住民が一体となって支援活動を行いました。



菊川市老人クラブ連合会総会が開催されました

4月24日に中央公民館で開催され、菊川市長をはじめ7名の御来賓の皆さまに御出席をいただきました。

80名の会員が出席しました。

事業計画の中には、24年度に好評だった「ペタボード大会」、友愛訪問を兼ねた「料理教室」、「健康ウォーキング」に加え、今年度は「レクリエーションダンス」を新たに加え、盛りだくさんの楽しい事業を計画しました。



会員を募集
しています。

お仲間を誘い合ってぜひご加入ください。

問合せ先：菊川市老人クラブ連合会事務局
菊川市社会福祉協議会 地域福祉係
☎35-3724

菊川市社会福祉協議会では福祉用具の貸出を行っています

福祉用具を必要とされる方は、社会福祉協議会へお問い合わせください。 ☎35-3724
昨年度年間利用実績をお知らせします。

貸 与 機 種	貸 付 台 数	貸 与 機 種	貸 付 台 数
	平成24年度		平成24年度
介護用ベッド	13台	浴槽手すり	6台
車椅子	139台	歩行器	1台
リクライニング車椅子	0台	四脚杖	7本
シャワーチェアー	7脚	ポータブルトイレ	20台
浴槽内イス	5脚		



ボランティアの広場

ボランティアの輪・和・話(三つの“わ”)

「福々会」

福々会は、中嶺田自治会の80歳以上の方たちが集まるサロンです。毎月第3土曜日に中嶺田公民館で開催しています。「集まれる場をつくってほしい。」という高齢者の声がかきかけとなり、福々会が誕生しました。平成15年7月にスタートし、今年で10年目を迎えています。

音楽に合わせての体操や、脳トレのようなゲームや、日帰り旅行などで、毎回楽しい時間を過ごしています。みんなでハンドベルを練習して、敬老会で披露したこともあります。みんなでやりたいことを出し合って、サロンの内容を決めています。

福々会は、のんびりとした、笑顔がいっぱいのサロンです。中嶺田の高齢者は、心も身体も元気はつらつです。

問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385



「ボランティア体験講座～出前編～」

ボランティア活動をしている方たちのお話を聞いたり、ボランティア体験をしてみませんか？

- 開催期間 平成26年3月31日まで
- 対象 子どもや大人の集まり（自治会、コミュニティ協議会、子ども会、ボランティアクラブなど）
- 開催費用 無料
- 内容 講話
ボランティア活動体験（点訳、要約筆記、音訳、視覚障がい者サポート、車イスサポートなど）
- 開催時間 1回2時間（単発講座）
原則平日9：30から17：00の間、ただし講師との調整が可能であれば、夜間休日の対応も可能。
- 会場 地区センター、自治会公会堂など（依頼元で御手配願います。）
- 申込・問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385 FAX 35-3202

求むボランティアさん

問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

①病院ボランティア

来院された方の受付支援を行うボランティアです。

活動内容 受付案内及び代筆

活動日時 平日の午前中

活動場所 菊川市立総合病院

募集対象 一般

※病院ボランティア“星”に所属をして活動していただきます。

②施設訪問ボランティア

高齢者施設などに出向き、皆さんに楽しんでいただくボランティアです。

活動内容 演奏、コーラス、レクリエーション、ダンス、手工芸指導など

活動日時 不定期（調整の上、決定します。）

活動場所 不定（調整の上、決定します。）

募集対象 個人、グループ

③イベント助っ人ボランティア

社会福祉施設やボランティアグループが行うイベントの際のボランティアです。

活動内容 イベント開催時のお手伝い

活動日時 不定期

活動場所 不定

募集対象 一般、学生



参加者募集 各種事業

貸出事業をご利用ください

●レクリエーション用具

レクリエーション用具の貸出しを行っています。地域や福祉施設での集いや学校行事など皆さんが集まる際にぜひご利用ください。

【対 象 者】 市内在住・在勤者で構成される組織や団体または個人、福祉施設、教育機関など

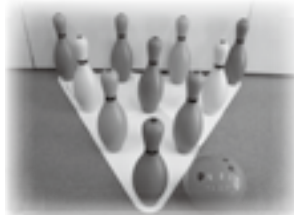
【貸出機器】 軽スポーツ用具、テーブルゲームなど

【申込方法】 利用予定日の3日前までに申込書に記入のうえ、直接またはFAXで社会福祉協議会へ申し込んでください。

※事前に電話で予約状況をご確認ください。

【そ の 他】 利用料は無料。貸出期間は1週間以内です。用具は原則室内でご利用ください。

【問合せ・申込先】 菊川市社会福祉協議会 地域福祉係 ☎35-3724 FAX 35-3202



ご参加ください

精神障がい理解普及啓発交流事業「ふれあい企画」参加者募集

障がいをお持ちの方と一緒に、東名菊川インターチェンジ前の花壇をレンガなどで飾る作業や昼食作りを行います。参加をお待ちしています。

【日 時】 平成25年6月2日(日) 9:00~12:30

【会 場】 プラザけやき 201会議室 他

【対 象】 学生(高校生を中心)

【定 員】 20名(先着順)

【参加費】 無 料

【問合せ・申込先】 5月20日メ切

菊川市社会福祉協議会 地域福祉係 後藤まで ☎35-3724 FAX35-3202

Eメール chiiki@kiku-syakyou.or.jp

※FAX・メールでのお申し込みは、「ふれあい企画申込み」と明記の上、学校名、学年、氏名、連絡先をご記入ください。



福祉有償運送運転者・セタン等運転者講習会

国土交通大臣認定の講習を行い、福祉有償運送運転者及びセタン等運転者を養成します。

【主 催】 菊川市社会福祉協議会

【日 時】 第1日目：平成25年6月11日(火) 9:30~15:50

第2日目：平成25年6月12日(水) 9:00~15:20

※2日間とも受講が必要です。

【内 容】 講義、実技等

【会 場】 第1日目：菊川市総合保健福祉センター プラザけやき

第2日目：特別養護老人ホーム松秀園、菊川総合自動車学校

【対 象】 ・第一種運転免許を所持し、これから福祉有償運送の運転者として従事しようとする方
・道路運送法第78条の許可を受ける訪問介護事業所の訪問介護員等の方

【定 員】 21名(先着順)

【参加費】 3,000円

【申込先】 菊川市社会福祉協議会 受講申込書に必要事項を記入し、ファクシミリまたは電子メールでお申し込みください。受講申込書は、本会ホームページ(<http://www.kiku-syakyou.or.jp/>)からダウンロードできます。



相談窓口

福祉総合相談

【日時】 月～金曜日 8:15～17:00

心配ごと相談

【日時】 6月3日(月) 9:00～12:00

6月17日(月) 13:00～16:00

【会場】 プラザけやき

【日時】 6月5日(水) 13:00～16:00

6月20日(木) 9:00～12:00

【会場】 菊川市役所 小笠支所

結婚相談

※初めての方は写真と印鑑をご持参ください。

【日時】

6月7日(金) 18:00～21:00(受付20:00まで)

6月16日(日) 9:00～12:00(受付11:00まで)

【会場】 プラザけやき

ひきこもり、不登校無料相談会

【日時】 6月3日(月)・17日(月) 13:00～16:00

【会場】 菊川児童館(プラザけやき2階)

【予約電話】 090-1476-3233